

## 自己評価シート【烏森住区センター児童館】

### 1、福祉サービスの基本方針と組織

#### 1-1 理念・基本方針

1-1-1 (1) 理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。	
<b>【判断基準】</b> (a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。 (b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。 (c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取組や記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館の基本理念・基本方針については、児童館のパンフレットや館内掲示で利用者へ周知しています。パンフレットについては、学校通じて全校配布し、また地域懇談会等で利用者や地域に周知をしています。
1-1-2 (2) 理念、基本方針の確立・周知について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
館における基本方針を意識しながら、その題目だけでなく、お知らせや、保護者、地域との懇談の機会に児童館での実践を交えながら周知しています。	方針については子どもたちには、わかりやすい表現で示していますが、館内掲示については今後、おとな向けにももう少し内容の解説を加えていく予定です。

### 2、児童館の活動に関する事項

#### 2-1 児童館の理念・目的及び施設特性

2-1-1 (1) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
<b>【判断基準】</b> (a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。 (b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。 (c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館ガイドラインや目黒区児童館運営指針の理念や方針について検討し、基本理念や館の運営方針を定めています。運営方針については、子ども達にもわかりやすい表現となるよう意識しています。
2-1-(2) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を發揮している。	
<b>【判断基準】</b> (a) 児童館の施設特性を發揮している。 (b) 児童館の施設特性を發揮しているが、十分ではない。 (c) 児童館の施設特性を發揮していない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	安全に安心して過ごせ、楽しく遊んだり学んだりできる居場所になるように努めています。各部屋で遊びを通して異年齢のつながりができるよう働きかけ、一緒に楽しめるようにしています。子どもたちや保護者から要望を聞き、子どもが参画できる事業の展開や保護者との交流や活躍できる機会を設けています。また、地域住民の方や児童館元利用者（大学生等）にボランティアとして行事等のお手伝いをお願いしています。施設特性を生かした活動が少しずつ發揮できています。
2-1-(3) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
<b>【判断基準】</b> (a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。 (b) - (c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	子どもたちからの意見や発案、提案されたものを日常活動や児童館行事に取り入れ、館運営に取り組んでいます。定期的に子ども会議を実施し、会議参加者は勿論参加できなかった子どもにも掲示板やお知らせなどを通して、会議の報告や取り組みについて周知をしています。また、トラブル等についても子どもたちを指導する場面においても、子どもたちの言い分を聞き、丁寧な話し合いの中で解決を図るようにしています。
2-1-(4) 児童館の理念・目的及び施設特性について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
行事の参画や色々な体験などを通して子どもたち同士を繋げて仲間づくりの輪を広げていくことが健やかな育ちに通じていると思います。	コロナ禍の4年間で社会状況の変化や子どもたちへの利用制限があったため、本来の施設の特性を生かした遊びや行事が出来ていなかった期間が長く、遊びの楽しさなど今後も子どもたちに伝えていく必要があります。

## 2-2 遊びによる子どもの育成

2-2-(1)	
子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。	
【判断基準】	
(a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。	
(b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。	
(c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	職員間で日々子どもたちの遊びや言動を伝えあい、子どもの発達の特徴や発達過程の理解を深められるようにしています。また職員が発達について学ぶ機会も作るようにしています。一人ひとりの状態を把握し、職員がそれを共有することで、職員みんなが同じ対応をすることができるように努めています。
2-2-(2)	
子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
【判断基準】	
(a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
(b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。	
(c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	各部屋で子どもが自由に自ら遊びを作り出せるように環境整備をしています。地域のおまつりでは、ゲームコーナー、ステージコーナーを行い、太鼓発表とともに子どもたちの発想による活動を援助することができました。定期的に子ども会議を実施し、子どもたちのやってみたいことを表明する機会を設けています。
2-2-(3)	
子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。	
【判断基準】	
(a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。	
(b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。	
(c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。	

【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）	
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>プレイルームや遊戯室では異年齢の子どもたちが共にひとつの遊びで交流しています。時に意見が合わない時も、お互いに話し合い仲良く遊びを継続できるように援助しています。</p> <p>幼児も各部屋を利用し、小学生と幼児、その保護者が一緒に遊び、交流する様子も見られています。</p>	
2-2-(4) 遊びによる子どもの育成について		
良いと思う点	改善が必要だと思う点	
<p>子どもたちがやってみたくて思っていることを引き出し、実現できるように援助しています。</p> <p>異年齢の子どもたちが関わりを持ち、それぞれのことを理解できるような対応を心がけています。</p>	<p>児童館職員として利用者の支援をするためには、常に一人ひとりの職員のスキルを向上させる努力が必要になります。今後も遊びの引き出しを増やし、利用者にあった対応を学ぶことを大切にしていきます。</p>	

### 2-3 児童館の安全管理

2-3-(1) 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。		
【判断基準】		
<p>(a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。</p> <p>(b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。</p> <p>(c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。</p>		
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）	
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>利用者とともに避難訓練（地震、火災、Jアラート、防犯）を毎月1回実施しています。実施後は、職員間で避難訓練の振り返りを行っています。館内で事故が発生したときには複数で確認、対応し、必要に合わせて保護者連絡をしています。その後、職員間で事例を共有し、同じような事例が起きた場合の対処や改善策を話し合っています。</p>	
2-3-(2) 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。		
【判断基準】		
<p>(a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。</p> <p>(b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。</p> <p>(c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。</p>		
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）	

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>子どもの様子から危ないと思われる行為や遊具の使い方について、職員間で確認し、対応を統一しています。また、その内容について子どもたちにも伝え、理解して遊んでもらえるよう努めています。</p> <p>施設設備や遊具に異変があった場合は、職員間で共有し、使用をやめたり新しいものに替えたりするなど対応しています。施設設備の修繕などに関しては、管理部署と連絡して対応しています。</p>
--	--